

第1 事業報告書

平成28年度公益財団法人広島市農林水産振興センター事業報告書
(平成28年4月1日から平成29年3月31日まで)

1 設立目的及び概況

(1) 設立目的

広島市における農林水産業等の振興を図るとともに、農山漁村地域の持つ公益的機能を活用した事業を推進し、もって活力ある農山漁村地域の確立と健康で豊かな市民生活の向上に寄与することを目的とする。

(2) 概況

ア 設立年月日

平成4年4月1日 財団法人広島市農業振興センターとして設立
平成10年4月1日 財団法人広島市林業振興公社と統合
平成17年4月1日 財団法人広島市水産振興協会と統合
平成24年4月1日 公益財団法人へ移行

イ 基本財産

設立当初、基本財産は、5,000万円(全額広島市出資)であったが、平成10年4月1日の財団法人広島市林業振興公社との統合に伴い、同財団から3,000万円を寄附受領した。

また、平成17年4月1日の財団法人広島市水産振興協会との統合に伴い、広島市から1,000万円の追加出資があったことにより、現在の基本財産は、9,000万円(うち広島市出資6,000万円)である。

ウ 実施事業

- (ア) 農林水産業の振興に関する指導及び普及啓発
- (イ) 農林水産業に関する調査及び試験研究
- (ウ) 水源涵養、緑地保全等公益的機能の活用に関する指導及び普及啓発
- (エ) 農山漁村地域の担い手の育成及び指導
- (オ) 農地利用集積円滑化に関する事業
- (カ) 水産資源の維持増殖に必要な重要魚介類等の種苗生産
- (キ) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

2 役員等の状況

(1) 役員等の数

理事長 1人
常務理事 1人
理事 8人
監事 2人
評議員 7人

(2) 理事・監事

ア 事業年度中の理事・監事の異動は、次のとおりである。

異動年月日	役職	氏名	異動内容
平成28年4月1日	理事長	棚多展義	就任
平成28年4月1日	監事	藤田悟	就任

平成28年6月3日	理事長	棚多展義	重任
平成28年6月3日	常務理事	中ノ殿 潔	重任
平成28年6月3日	理事	甲斐智子	重任
平成28年6月3日	理事	胡子昌宏	退任
平成28年6月3日	理事	木村洋三	就任
平成28年6月3日	理事	倉本 守	重任
平成28年6月3日	理事	島本啓司	重任
平成28年6月3日	理事	鈴木修治	重任
平成28年6月3日	理事	福田五郎	退任
平成28年6月3日	理事	中森公司	就任
平成28年6月3日	理事	吉川清二	退任
平成28年6月3日	理事	三浦隆志	就任
平成28年6月3日	理事	向井田輝紀	重任
平成28年6月3日	監事	井出下文子	重任
平成28年6月3日	監事	藤田 悟	重任
平成29年3月31日	理事長	棚多展義	辞任

イ 平成29年3月31日現在の理事・監事は、次のとおりである。

役 職	氏 名	就任年月日
理事長	棚多展義	平成28年 4月 1日
常務理事	中ノ殿 潔	平成27年 4月 1日
理事	甲斐智子	平成24年 4月 1日
理事	木村洋三	平成28年 6月 3日
理事	倉本 守	平成24年 4月 1日
理事	島本啓司	平成24年 4月 1日
理事	鈴木修治	平成24年 4月 1日
理事	中森公司	平成28年 6月 3日
理事	三浦隆志	平成28年 6月 3日
理事	向井田輝紀	平成24年 4月 1日
監事	井手下文子	平成24年 4月 1日
監事	藤田 悟	平成28年 4月 1日

(3) 評議員

ア 事業年度中の評議員の異動は、次のとおりである。

異動年月日	役 職	氏 名	異動内容
平成28年6月3日	評議員	浅枝俊治	重任
平成28年6月3日	評議員	後藤慎太郎	退任

平成28年6月3日	評議員	吉川清二	就任
平成28年6月3日	評議員	河野芳徳	重任
平成28年6月3日	評議員	中川和義	重任
平成28年6月3日	評議員	伊東祐保	退任
平成28年6月3日	評議員	波田輝明	就任
平成28年6月3日	評議員	森正記	重任
平成28年6月3日	評議員	山本雅子	重任

イ 平成29年3月31日現在の評議員は、次のとおりである。

役職	氏名	就任年月日
評議員	浅枝俊治	平成24年4月1日
評議員	吉川清二	平成28年6月3日
評議員	河野芳徳	平成24年4月1日
評議員	中川和義	平成24年4月1日
評議員	波田輝明	平成28年6月3日
評議員	森正記	平成26年7月1日
評議員	山本雅子	平成24年4月1日

3 理事会等の開催

(1) 理事会

開催年月日	開催回数	付議事項	審議結果
平成28年4月1日	平成28年第2回	理事長（代表理事）の選定について	選定
平成28年5月19日	平成28年第3回	平成27年度公益財団法人広島市農林水産振興センター事業報告及び決算	承認
		定時評議員会の招集について	原案可決
		平成27年度における職員の職務に係る倫理の保持に関する状況等について「報告」	終了
		平成28年度における職務の執行状況について「報告」	終了
平成28年6月3日	平成28年第4回	理事長（代表理事）の選定について	選定
		常務理事の選定について	選定

平成29年3月30日	平成29年第1回	平成29年度公益財団法人広島市農林水産振興センター事業計画及び収支予算	承認
		常勤役員の報酬等について	承認
		平成28年度における職務の執行状況について「報告」	終了

(2) 評議員会

開催年月日	開催回数	付議事項	審議結果
平成28年4月1日	平成28年第1回	理事の選任について	選任
		監事の選任について	選任
平成28年6月3日	平成28年第2回	平成27年度公益財団法人広島市農林水産振興センター事業報告「報告」	終了
		平成27年度公益財団法人広島市農林水産振興センター決算	承認
		評議員の選任について	選任
		役員の選任について	選任

4 定款の変更

事業年度中の定款の変更はない。

5 職員の状況

平成29年3月31日現在の職員の状況は、次のとおりである。 (単位：人)

区分	事務職員						小計	技術職員					小計	業務員	非常勤職員	合計
	部長級	課長級	補佐級	係長級	主事	部長級		課長級	補佐級	係長級	技師					
農林部	調整課			2	3	5	1	1	1		3		3	11		
	農業振興課							1	2	2	8	13		13		
	農林体験推進課							1	1	2	5	9	2	11		
水産部	普及指導課				1	1	1		1		2	4	2	7		
	栽培漁業課						1		1	1	4	2	2	8		
合計				2	4	6	3	3	5	6	16	33	2	9	50	

6 事業の実施状況

次の事業を実施した。

(1) 公益目的事業 131,770,785円

次のとおり公益目的事業を実施した。

ア 農業の担い手の育成及び試験研究（公益目的事業1）

39,581,865円

区分	事業内容等	決算額
担い手の育成	<p>“ひろしま活力農業” 経営者育成 本格的な農業経営を行う若い農業者を育成するため、研修を行うとともに農地の幹旋や営農支援を行った。</p> <p>(ア) 研修活動 a 19期生1年目基礎研修 4人 (29年1月からの次点者繰上げ1人を含む) 講義及び実習 236日(うち次点者59日) b 18期生2年目実地研修 3人 就農予定地(安佐町2人、安芸太田町1人)での営農研修</p> <p>(イ) 農地の確保・幹旋(農地の利用権設定) a 19期生 2人 15,696㎡(白木町三田、五日市町野登呂) b 18期生 2人 17,636㎡(安佐町鈴張、安佐町小河内)</p> <p>(ウ) 経営確立支援 営農支援講習等 受講者 1~18期生 延べ14人(5回開催)</p> <p>(エ) 20期生募集・選考 a 応募 7人 b 選考 3人(うち安芸太田町1人)</p>	千円 6,103
	<p>「スローライフで夢づくり」新規就農者育成(指定管理業務) 新規就農希望者等への研修を行うとともに、農地の幹旋や就農者への営農支援を行った。</p> <p>(ア) 研修活動 12期生研修 7人 講義及び実習 138日</p> <p>(イ) 農地の確保・幹旋(農地の利用権設定) 12期生 6人 9,271㎡</p> <p>(ウ) 就農後の活動支援 営農支援講習等 1~11期生 延べ97人(12回開催)</p> <p>(エ) 13期生募集・選考 a 応募 12人 b 選考 7人(うち廿日市市1人)</p>	千円 381
	<p>ふるさと帰農者育成 農家出身者を対象に栽培や販売の研修などを行った。</p> <p>(ア) 研修活動 11期生研修 10人 講義、実習及び先進農家見学など 92日</p> <p>(イ) 就農後の活動支援 営農支援講習等 受講者 1~10期生 延べ195人(12回開催)</p>	千円 203

区分	事業内容等	決算額
担い手の育成	(ウ) 12期生募集・選考 a 応募 15人 b 選考 15人 (うち廿日市市2人、江田島市1人)	—
	“チャレンジ”女性農業者育成 農家の女性を対象に野菜・花きの生産、加工、販売の研修などを行った。 (ア) 研修活動 7期生研修 5人 講義、実習及び先進農家見学など 92日 (イ) 就農後の活動支援 営農支援講習等 受講者 1～6期生 延べ58人 (12回開催) (ウ) 8期生募集・選考 a 応募 5人 b 選考 5人 (うち江田島市1人、安芸太田町1人)	千円 136
	広島市農業経営改善支援センターの運営 認定農業者等の経営改善に関する相談、支援研修の開催、情報収集・提供活動などを行った。 認定農業者総数 103経営体 (28年度再認定17経営体) 認定新規就農者総数 12経営体 (28年度認定2経営体) (ア) 経営改善支援活動 a 経営改善に関する相談 17件 b 研修会 (簿記、税務等) 3回 延べ41人 c 広島市認定農業者協議会総会の開催 2月 (イ) 情報収集提供活動等 a 全国農業担い手サミットへの参加 (岐阜県) 2人 b 経営改善フォローアップ活動 7回	千円 166
	農地利用集積円滑化 新規就農者など、農業の担い手へ農地の利用集積を行った。 (ア) “ひろしま活力農業” 経営者 1～18期生 31人 150筆 264,569㎡ (イ) 「スローライフで夢づくり」 新規就農者 1～11期生 44人 112筆 68,138㎡	千円 6,009
試験研究	農業に関する試験研究 (指定管理業務) 広島市農業振興センターにおいて、野菜・花き等の栽培試験及び普及啓発を行った。 (ア) 野菜・花き等の栽培試験及び普及啓発 a 葉物野菜の栽培試験 ホウレンソウの品種比較 b 直売所向けの野菜・花きの栽培展示 45品目 c 効率的な栽培システムの実証展示 3件	千円 26,584

区分	事業内容等	決算額
試験研究	(イ) 農家ほ場の土壌診断 土ドック 1, 380件、一般分析 970件 (ウ) 園芸バイオ技術による野菜や花き等の優良種苗の生産供給 フキ、サツマイモなど5品目 3, 485株 (エ) 施設の維持管理 施設等の保守点検や維持補修を行った。 敷地面積 16, 147㎡ 事務所棟、試験ほ場、ガラス温室など 25棟	—

イ 農林業に関する普及啓発等（公益目的事業2）

57, 145, 460円

区分	事業内容等	決算額															
普及啓発	<p>“ひろしまそだち” 地産地消推進 “ひろしまそだち” の普及啓発を行い、地産地消を推進した。</p> <p>(ア) 普及啓発活動</p> <p>a 情報誌「ひろしまそだちだより23号」の発行 協議会員、関係機関などへ配布 3, 000部</p> <p>b 「ひろしまフードフェスティバル2016」での産品PR</p> <p>c ホームページによる情報発信</p> <p>d 6次産業化サポート 講習会（ミニトマトの加工と商品化など）の開催 5回</p> <p>(イ) 推進体制の強化</p> <p>a “ひろしまそだち” 地産地消推進協議会の開催 1回</p> <p>b “ひろしまそだち” 野菜アドバイザー活動支援 料理教室などで市民へ“ひろしまそだち” の普及啓発を行う野菜アドバイザー研修修了生の活動支援を行った。 活動支援（対象者：1～8期生65人） “ひろしまそだち” 普及啓発用の野菜提供 ニラなど2回</p> <p>c “ひろしまそだち” 地産地消協力店 “ひろしまそだち” 産品を積極的に取り扱う小売・飲食店の登録を行った。 ※ 登録数45店舗（新規3店舗）</p> <p>d “ひろしまそだち” 地産地消サポーター “ひろしまそだち” を通じた地産地消の推進に賛同する人をサポーター登録した。 ※ 登録数 705人（新規30人）</p> <p>(ウ) ひろしま朝市の支援 地産地消と都市農村交流を推進する朝市の開催支援を行った。</p> <p>a 開催状況</p> <table border="1" data-bbox="450 1859 1233 2049"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>開催回数</th> <th>来客数</th> <th>出店数</th> <th>販売額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年間</td> <td>48回</td> <td>13, 730人</td> <td>694店</td> <td>14, 663, 062円</td> </tr> <tr> <td>1回当たり</td> <td>—</td> <td>286人</td> <td>14店</td> <td>305, 480円</td> </tr> </tbody> </table> <p>b イベント開催 4回</p>	区分	開催回数	来客数	出店数	販売額	年間	48回	13, 730人	694店	14, 663, 062円	1回当たり	—	286人	14店	305, 480円	千円 3, 290
区分	開催回数	来客数	出店数	販売額													
年間	48回	13, 730人	694店	14, 663, 062円													
1回当たり	—	286人	14店	305, 480円													

区分	事業内容等	決算額
普及啓発	<p>食農推進</p> <p>市民へ「食」と「農」の大切さの啓発を行った。</p> <p>(ア) 食農体験推進</p> <p>広島市農業振興センターで、栽培から収穫、調理・試食までの体験会を行った。</p> <p>a おいしいトウモロコシの食農体験 2回 延べ36人</p> <p>b ブロッコリーの食農体験 2回 延べ35人</p> <p>(イ) 食農コーディネーターの育成・支援</p> <p>食農体験等の企画・運営に携わる市民ボランティアの育成と修了生の活動支援を行った。</p> <p>a 8期生研修(1年目) 5人</p> <p>コマツナの収穫体験と鮮度比較など 11回</p> <p>b 1～7期生活動支援(対象者38人)</p> <p>(a) フォローアップ研修会及び体験会 5回延べ29人</p> <p>(b) “ひろしまそだち”の普及啓発用の野菜提供</p> <p>タマネギ、リーフレタスなど 1回</p>	千円 140
	<p>広島市アグリ人材バンク</p> <p>農業・農村振興にかかる優れた技能を指導できる人材の発掘・登録を行った。登録32人(新規2人)</p>	千円 13
	<p>市民参加の森林づくり</p> <p>市民が森林づくりの運動に自発的に参加するよう、技術の修得や機会の提供を行った。</p> <p>(ア) 「もりメイト」育成</p> <p>市民参加の森林づくりの先導的役割を果たすボランティアを育成するため、森林に関する知識や林業技術習得に係る講習会を開催した。</p> <p>a 21期生募集・抽選 応募 35人、抽選 30人</p> <p>b 21期生講習修了27人 下刈り、間伐、植林、枝打ちなど8回</p> <p>(イ) チェーンソー等の特別講習</p> <p>チェーンソー及び刈払機を使用する伐木等の業務に係る法定特別講習を開催した。</p> <p>a チェーンソー 22人(8月27日、28日)</p> <p>b 刈払機 26人(8月21日)</p> <p>(ウ) ひろしま100年の森育成事業</p> <p>a バットの森「植樹」(ひろしま市民の里@安佐)</p> <p>安佐町久地学区子ども会を対象に、親子がバットの原材料となるアオダモの植樹を行った。</p> <p>12月11日(日) 植樹本数 60本</p> <p>参加者 親子 39人(大人17人、子供22人)、里山整備士 3人</p> <p>b みどりの里親制度等</p> <p>広島市森林公園において、平成23年度から26年度に植樹したドングリの保育管理を行った。</p>	千円 —

区分	事業内容等	決算額
普及啓発	<p>(エ) 森林整備活動用具の貸出し 森林の整備活動を支援するため、活動を行う団体に対し、道具や安全具の貸出しを行った。 貸出回数 14回(11団体) 貸出個数 延べ1,468個</p> <p>(オ) ひろしま「森の市」の開催 市民の森林や林業への理解を深めるため、森林ボランティア団体の活動紹介や、木製品や森の産物の展示販売などを支援するイベントを実施した。 11月3日(祝) 広島市森林公園(入園者数3,026人) 参加団体 19団体</p> <p>(カ) みどりの少年団育成 小学校高学年を対象に、自然への理解や愛護心を養うため、森林などに生息する植物や動物についての観察学習を行った。 a 団員 49人(小学4~6年生、少年団OB・OG) b 活動 植物観察など 10回 延べ285人</p>	—
	<p>里山整備士養成講座 里山の再生・整備を、市民ボランティアと地域住民が協働で行う際の指導役を担う「里山整備士」を養成した。(研修期間2年)</p> <p>(ア) 11期生1年目基礎講座 植生調査、測量、整備実習など 5人 12回</p> <p>(イ) フォローアップ研修 植物観察、きのこ研修 2回 延べ27人</p> <p>(ウ) 未利用材搬出研修 ポータブルウインチを利用した集材・搬出等 5人 14回</p>	千円 1,298
	<p>「ひろしま農林水産振興ニュース」の発行 農林漁業者や市民に対し、本財団の業務紹介などを行い、農林水産業の理解促進を図った。 年2回発行 7月(第47号)、3月(第48号) 農家、関係機関などへ各12,000部を配布した。</p>	千円 304
体験活動	<p>花みどり公園(指定管理業務) 公園内の諸施設の管理運営を行うとともに、園内の花木などを活用して、花や緑への興味や知識を深める講習会などを開催した。</p> <p>(ア) 施設の運営状況 a 入園者数 84,500人 b 駐車台数 29,920台 c ドッグランの利用者数 9,274人</p> <p>(イ) 施設の維持管理 施設等の保守点検や維持補修を行った。 敷地面積 92,503㎡ 管理棟、ガラス温室など 4棟 ドッグラン1,800㎡(小型犬800㎡、大型犬1,000㎡)</p>	千円 29,089

区分	事業内容等	決算額
体験活動	<p>(ウ) 講習会等の開催</p> <p>a 「2016春のシャクナゲふれあい祭り」 4月16日(土)～5月5日(木・祝) 20日間 入園者数 20,640人</p> <p>(a) シャクナゲ展 (b) 花みどり公園案内・説明ボランティア 45人 (c) 花苗の無料配布 4月29日(祝) 500鉢</p> <p>b 園芸教室の開催 コケ玉づくり 5回、ガーデニング 3回、庭木の管理等 7回、シャクナゲ講座 5回 全20回 延べ342人</p> <p>c 食農体験教室の開催 ブルーベリージャム作り 4回、しめ縄作り 2回 全6回 延べ206人</p> <p>(エ) 花みどり公園ファンクラブの活動 植替え・除草や剪定などの園内管理 登録者数35人(活動133日 延べ823人)</p>	—
	<p>ひろしま市民の里@安佐</p> <p>野菜づくりや里山づくりなどの農林業体験を通じて、自然にふれあい、交流する機会を提供した。</p> <p>(ア) 農林業体験参加者の募集・登録(登録者数 220人) (イ) 農地の維持管理(田 28a、畑 26a) (ウ) 農林業等体験(306日 延べ 1,492人)</p> <p>a 農林産物の栽培 ダイズ、ソバ、サツマイモなど 51品目</p> <p>b 食文化体験 豆腐作り、餅つき、そば打ちなど 13品目</p> <p>c 里山林の手入れ体験 d 自然観察会 4回</p> <p>(エ) 作業道・遊歩道の整備等 作業道新設 230m</p> <p>(オ) 運営協議会の開催 1回</p>	千円 5,497
	<p>広島市市民体験農園</p> <p>農家が開園した市民体験農園の入園事務を行うとともに、管理指導者の活動支援を行った。</p> <p>2農園(安佐北区勝木、佐伯区石内) 共同体験エリア 75組分(受入62組、82.7%) 個人体験エリア 111区画(入園93区画、83.8%)</p> <p>(ア) 入園事務 入園者の募集・貸付契約事務</p> <p>(イ) 管理指導者の活動支援 営農支援講習会等への参加案内</p>	千円 2,834

区分	事業内容等	決算額								
体験活動	<p>広島市市民菜園 農家が開園した市民菜園の管理運営等を行った。 39菜園 2,512区画 (入園2,303区画、92.6%)</p> <p>(ア) 入園事務 入園者の募集、貸付契約事務</p> <p>(イ) 施設の維持管理 ポンプ等附帯設備の修繕、空き区画の管理など</p> <p>(ウ) 講習会の開催 9回 延べ287人 (5か所で開催)</p> <table border="1" data-bbox="459 566 1043 757"> <thead> <tr> <th>実施月</th> <th>内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4月</td> <td>春夏野菜の栽培</td> </tr> <tr> <td>7月</td> <td>農業振興センターほ場見学ほか</td> </tr> <tr> <td>7、8月</td> <td>秋冬野菜の栽培</td> </tr> </tbody> </table>	実施月	内 容	4月	春夏野菜の栽培	7月	農業振興センターほ場見学ほか	7、8月	秋冬野菜の栽培	-
実施月	内 容									
4月	春夏野菜の栽培									
7月	農業振興センターほ場見学ほか									
7、8月	秋冬野菜の栽培									
	<p>広島市市民農園 (指定管理業務) 市民農園の管理運営を行い、野菜などの栽培の場を提供するとともに、地域住民主催の行事などの実施により都市農村交流を推進した。</p> <p>(ア) 入園事務 入園者の募集・貸付契約事務、利用料金の徴収</p> <p>(イ) 施設の維持管理 附帯設備の修繕、空き区画の管理など</p> <p>a 三田市民農園 農園 5,500㎡ 112区画 管理棟 1棟 (入園76区画、67.9%)</p> <p>b 見張市民農園 農園 8,650㎡ 178区画 管理棟 1棟 (入園72区画、40.4%)</p> <p>c 三国市民農園 農園 3,375㎡ 137区画 (入園119区画、86.9%)</p> <p>(ウ) 都市農村交流会、講習会などの実施</p> <p>a 三田市民農園 11回 延べ217人 栽培講習会2回、収穫祭、キムチ作りなど</p> <p>b 見張市民農園 24回 延べ1,027人 栽培講習会2回、収穫祭、おためし区画講習会3回、食農区画サツマイモ植付・掘り取り体験など</p> <p>c 三国市民農園 4回 延べ60人 栽培講習会2回、収穫祭など</p> <p>(エ) 管理組織の活動支援 施設の管理運営及び集客・活性化の検討</p> <p>a 三田市民農園 4回</p> <p>b 見張市民農園 12回</p> <p>c 三国市民農園 1回</p>	千円 10,441								

区 分	事 業 内 容 等	決算額
太田川源流の森整備	<p>太田川源流の森整備</p> <p>広島市水道局の所有する森林（廿日市市吉和、面積354.92ha）について、水源かん養機能を保全するため、「太田川源流の森整備基本計画」に基づく森林管理を行った。</p> <p>(ア) 森林整備管理</p> <p>下刈 1.67ha 除伐 1.17ha 間伐 2.12ha 合計 4.96ha 作業道維持補修 200m 境界歩道下刈 0.13ha</p> <p>(イ) 普及啓発</p> <p>水源かん養の重要性を広く啓発するため、市民が行う森林保全活動（森林学習や間伐など）をサポートした。</p> <p>活動場所の下刈 2.69ha</p>	千円 4,239

ウ 水産業の調査及び試験研究並びに普及啓発（公益目的事業3）

35,043,460円

区 分	事 業 内 容 等	決算額																																
調査及び試験研究	<p>漁業技術の普及指導等（指定管理業務）</p> <p>水産資源の確保及び漁業生産の増大を図るため、次の事業を行った。</p> <p>(ア) カキ養殖に関する調査及び指導</p> <p>カキ養殖に関する諸調査を行い、その結果をもとに養殖指導を行った。</p> <p>指導件数 1,946件（うち来場・現場指導 1,425件）</p> <p>a カキ採苗調査</p> <p>広島県やカキ養殖業者と連携し、カキ採苗についての調査を行った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>調査期間</th> <th>調査地点</th> <th>調査回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>幼生調査</td> <td>6～8月</td> <td>17地点</td> <td>45回</td> </tr> <tr> <td>種見調査</td> <td>6～8月</td> <td>20地点</td> <td>51回</td> </tr> </tbody> </table> <p>b 害敵生物調査</p> <p>カキの成育不良を引き起こすムラサキイガイなどについて調査を行った。</p> <p>(a) ムラサキイガイ</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>調査期間</th> <th>調査地点</th> <th>調査回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>幼生調査</td> <td>4～6月、1～3月</td> <td>6地点</td> <td>33回</td> </tr> <tr> <td>付着調査</td> <td>4～6月、2～3月</td> <td>11地点</td> <td>25回</td> </tr> </tbody> </table> <p>(b) 稚ガキ等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>調査期間</th> <th>調査地点</th> <th>調査回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>付着調査</td> <td>9～10月</td> <td>4地点</td> <td>6回</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	調査期間	調査地点	調査回数	幼生調査	6～8月	17地点	45回	種見調査	6～8月	20地点	51回	区 分	調査期間	調査地点	調査回数	幼生調査	4～6月、1～3月	6地点	33回	付着調査	4～6月、2～3月	11地点	25回	区 分	調査期間	調査地点	調査回数	付着調査	9～10月	4地点	6回	千円 2,056
区 分	調査期間	調査地点	調査回数																															
幼生調査	6～8月	17地点	45回																															
種見調査	6～8月	20地点	51回																															
区 分	調査期間	調査地点	調査回数																															
幼生調査	4～6月、1～3月	6地点	33回																															
付着調査	4～6月、2～3月	11地点	25回																															
区 分	調査期間	調査地点	調査回数																															
付着調査	9～10月	4地点	6回																															

区分	事業内容等	決算額																																								
調査及び試験研究	<p>(c) アカフジツボ</p> <table border="1" data-bbox="475 203 1268 297"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>調査期間</th> <th>調査地点</th> <th>調査回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>付着調査</td> <td>9～11月</td> <td>3地点</td> <td>6回</td> </tr> </tbody> </table> <p>c 出荷サイズ調査 カキの成育状況、出荷動向などを把握するための調査を行った。</p> <table border="1" data-bbox="475 389 1174 483"> <thead> <tr> <th>調査期間</th> <th>対象者数</th> <th>調査件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4～5月、10～3月</td> <td>9経営体</td> <td>47件</td> </tr> </tbody> </table> <p>d カキ養殖技術研修会 今年度のカキ採苗に関する展望やムラサキイガイの付着状況などについて研修を行った。</p> <table border="1" data-bbox="475 618 1174 712"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>回数</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>カキ採苗研修会</td> <td>5回</td> <td>38人</td> </tr> </tbody> </table> <p>(イ) ノリ、ワカメ養殖に関する調査及び指導 養殖海域の環境及び生育状況を調査し、養殖の技術指導などを行った。</p> <table border="1" data-bbox="454 848 1268 987"> <thead> <tr> <th>調査期間</th> <th>調査地点</th> <th>指導件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>11～2月</td> <td>8地点</td> <td>316件 (ブランドワカメ販売検討会2回29人)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(ウ) 魚介類に関する指導 操業海域の環境調査結果などを活用して、漁ろう漁業者に指導及び研修を行った。</p> <table border="1" data-bbox="454 1124 1268 1240"> <thead> <tr> <th>指導・研修件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>500件 (アサリ増殖研修会 1回 15人)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(エ) 漁場環境の調査</p> <p>a カキ漁場環境調査 広島湾北部海域及び大黒神島海域において、カキ養殖に大きな影響を及ぼす水温やクロロフィルなどの調査を行った。</p> <table border="1" data-bbox="454 1420 1268 1608"> <thead> <tr> <th>調査地点</th> <th>調査回数</th> <th>調査内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>8地点</td> <td>111回 (4～3月)</td> <td>水温、塩分、溶存酸素量、クロロフィル、プランクトン組成等</td> </tr> </tbody> </table> <p>b 広島湾底質調査 広島湾北部海域の底質の状態を把握するため、全硫化物量などの調査を行った。</p> <table border="1" data-bbox="454 1744 1155 1883"> <thead> <tr> <th>調査地点</th> <th>調査回数</th> <th>調査内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3地点</td> <td>2回 (8月、2月)</td> <td>全硫化物量、泥色、泥温等</td> </tr> </tbody> </table> <p>(オ) 漁場環境の変化への対応 有害プランクトン調査 魚介類のへい死や二枚貝の毒化を引き起こす恐れがある有害プランクトンの発生状況を把握するため、原因プランクトンの調査を行った。</p>	区分	調査期間	調査地点	調査回数	付着調査	9～11月	3地点	6回	調査期間	対象者数	調査件数	4～5月、10～3月	9経営体	47件	区分	回数	人数	カキ採苗研修会	5回	38人	調査期間	調査地点	指導件数	11～2月	8地点	316件 (ブランドワカメ販売検討会2回29人)	指導・研修件数	500件 (アサリ増殖研修会 1回 15人)	調査地点	調査回数	調査内容	8地点	111回 (4～3月)	水温、塩分、溶存酸素量、クロロフィル、プランクトン組成等	調査地点	調査回数	調査内容	3地点	2回 (8月、2月)	全硫化物量、泥色、泥温等	-
区分	調査期間	調査地点	調査回数																																							
付着調査	9～11月	3地点	6回																																							
調査期間	対象者数	調査件数																																								
4～5月、10～3月	9経営体	47件																																								
区分	回数	人数																																								
カキ採苗研修会	5回	38人																																								
調査期間	調査地点	指導件数																																								
11～2月	8地点	316件 (ブランドワカメ販売検討会2回29人)																																								
指導・研修件数																																										
500件 (アサリ増殖研修会 1回 15人)																																										
調査地点	調査回数	調査内容																																								
8地点	111回 (4～3月)	水温、塩分、溶存酸素量、クロロフィル、プランクトン組成等																																								
調査地点	調査回数	調査内容																																								
3地点	2回 (8月、2月)	全硫化物量、泥色、泥温等																																								

区 分	事 業 内 容 等	決算額										
調査及び 試験研究	<table border="1"> <tr> <td>調査地点</td> <td>6 地点</td> </tr> <tr> <td>調査回数</td> <td>5回（4月、5月、8月）</td> </tr> <tr> <td>調査内容</td> <td>有害プランクトンの種類・密度</td> </tr> </table>	調査地点	6 地点	調査回数	5回（4月、5月、8月）	調査内容	有害プランクトンの種類・密度	—				
	調査地点	6 地点										
	調査回数	5回（4月、5月、8月）										
	調査内容	有害プランクトンの種類・密度										
	<p>(カ) 地元産品の直販指導</p> <p>ひろしま朝市などで漁業者自らが実施する地場産魚介類の販売活動等の指導を行い、地産地消の推進を図った。</p>											
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>販売品目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ひろしま朝市など</td> <td>カキ、鮮魚、ワカメ、ノリ、シジミなど</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	販売品目	ひろしま朝市など	カキ、鮮魚、ワカメ、ノリ、シジミなど							
	区 分	販売品目										
	ひろしま朝市など	カキ、鮮魚、ワカメ、ノリ、シジミなど										
	<p>(キ) 情報の提供</p> <p>カキ採苗調査や漁場環境調査結果等を取りまとめ、広島市内の漁業団体をはじめ、関係者に情報提供した。</p> <p>また、カキ養殖情報については、6月から8月までの採苗期間に広島市内のカキ養殖業者をはじめ、広島県内の漁業団体へも情報提供した。</p>											
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>提供件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>カキ養殖情報</td> <td>1 6 6 件</td> </tr> <tr> <td>ノリ、ワカメ養殖情報</td> <td>4 件</td> </tr> <tr> <td>海況情報</td> <td>2 1 件</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>1 9 1 件</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	提供件数	カキ養殖情報	1 6 6 件	ノリ、ワカメ養殖情報	4 件		海況情報	2 1 件	合 計	1 9 1 件
	区 分	提供件数										
	カキ養殖情報	1 6 6 件										
ノリ、ワカメ養殖情報	4 件											
海況情報	2 1 件											
合 計	1 9 1 件											
<p>(ク) シジミ資源増殖に関する調査・研究</p> <p>太田川におけるシジミ資源量を把握するための調査を行った。また、シジミ資源を増大させるための取組みを行い、その効果を検証した。</p>												
<p>a シジミ資源状況調査</p> <p>太田川下流域のシジミ漁場におけるシジミの資源状況、水温及び塩分濃度の調査を行った。</p>												
<table border="1"> <tr> <td>調査時期</td> <td>5月、10月</td> </tr> <tr> <td>調査地点</td> <td>27地点</td> </tr> </table>	調査時期	5月、10月	調査地点	27地点								
調査時期	5月、10月											
調査地点	27地点											
<p>b ネット被覆による食害防止の効果検証</p> <p>漁業者の協力のもと、放流用の種苗を被覆網により保護し、その効果を検証した。</p>												
<table border="1"> <tr> <td>試験期間</td> <td>5月～3月</td> </tr> <tr> <td>試験結果</td> <td>放流直後の減耗が大きく、最終的な生存率は11%となった。</td> </tr> </table>	試験期間	5月～3月	試験結果	放流直後の減耗が大きく、最終的な生存率は11%となった。								
試験期間	5月～3月											
試験結果	放流直後の減耗が大きく、最終的な生存率は11%となった。											
<p>c 人工種苗成育試験</p> <p>種苗生産試験で生産した種苗について、川砂を入れた塩ビ管又はネット袋に收容し、生存状況の調査を漁業者と共同で行った。</p>												
<table border="1"> <tr> <td>試験期間</td> <td>10月～3月</td> </tr> <tr> <td>試験結果</td> <td>1ヶ月毎に生存状況等を調査した結果、生存率はほぼ90%であった。</td> </tr> </table>	試験期間	10月～3月	試験結果	1ヶ月毎に生存状況等を調査した結果、生存率はほぼ90%であった。								
試験期間	10月～3月											
試験結果	1ヶ月毎に生存状況等を調査した結果、生存率はほぼ90%であった。											

区分	事業内容等	決算額																																								
調査及び試験研究	<p>つくり育てる漁業の推進（指定管理業務） 水産資源の維持増大を図り、新鮮な魚介類を安定的に供給するため、次の事業を行った。</p> <p>(ア) 種苗生産 次のとおり種苗を生産し、広島市に引き渡した。</p> <table border="1" data-bbox="454 380 1268 761"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>生産計画</th> <th>生産結果</th> <th>大きさ等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ガザミ</td> <td>20万尾</td> <td>25.9万尾</td> <td>稚ガニ 3令以上</td> </tr> <tr> <td>マコガレイ</td> <td>10万尾</td> <td>12.2万尾</td> <td>30mm以上</td> </tr> <tr> <td>オニオコゼ</td> <td>3万尾</td> <td>5.1万尾</td> <td>40mm以上</td> </tr> <tr> <td>アイナメ</td> <td>1万尾</td> <td>一万尾※¹</td> <td>60mm以上</td> </tr> </tbody> </table> <p>※¹ 平成28年3月に1万尾引渡し済 なお、3月末現在、約50mmの種苗1.8万尾を飼育中</p> <p>(イ) シジミ種苗生産試験及び技術指導 シジミ資源の増大に向け、太田川産のヤマトシジミを用い、種苗生産試験を行うとともに、漁業者への技術指導を行った。</p> <table border="1" data-bbox="454 985 1268 1131"> <tbody> <tr> <td>試験期間</td> <td>7～10月</td> </tr> <tr> <td>試験結果</td> <td>殻長0.3mm～4.4mmの種苗を187万個生産した。</td> </tr> </tbody> </table> <p>(ウ) 種苗放流指導 漁業関係者を対象に、種苗放流、受精卵放流、栽培漁業技術などの指導及び研修会を行った。</p> <table border="1" data-bbox="454 1265 1268 1355"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>回数</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>種苗放流指導等</td> <td>39回</td> <td>延べ135人</td> </tr> </tbody> </table> <p>(エ) 種苗放流効果調査（オニオコゼ） オニオコゼの標識放流魚の混入率調査を行い、種苗放流効果の評価を行った。</p> <table border="1" data-bbox="454 1489 1133 1680"> <thead> <tr> <th>調査時期</th> <th colspan="2">11～12月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">調査結果</td> <td>標識率</td> <td>1/3</td> </tr> <tr> <td>標識放流魚の混入率</td> <td>2.3%</td> </tr> <tr> <td>放流魚の割合推定率</td> <td>6.9%</td> </tr> </tbody> </table> <p>(オ) 施設等の維持管理 施設などを良好に保つため、保守点検、維持補修を行った。 広島市水産振興センター 敷地面積 9,958㎡ 本館棟、ガザミ槽棟、飼育棟など 15棟 指導船（第九市水丸、なきり丸、つくね）</p>	種類	生産計画	生産結果	大きさ等	ガザミ	20万尾	25.9万尾	稚ガニ 3令以上	マコガレイ	10万尾	12.2万尾	30mm以上	オニオコゼ	3万尾	5.1万尾	40mm以上	アイナメ	1万尾	一万尾※ ¹	60mm以上	試験期間	7～10月	試験結果	殻長0.3mm～4.4mmの種苗を187万個生産した。	区分	回数	人数	種苗放流指導等	39回	延べ135人	調査時期	11～12月		調査結果	標識率	1/3	標識放流魚の混入率	2.3%	放流魚の割合推定率	6.9%	千円 31,306
種類	生産計画	生産結果	大きさ等																																							
ガザミ	20万尾	25.9万尾	稚ガニ 3令以上																																							
マコガレイ	10万尾	12.2万尾	30mm以上																																							
オニオコゼ	3万尾	5.1万尾	40mm以上																																							
アイナメ	1万尾	一万尾※ ¹	60mm以上																																							
試験期間	7～10月																																									
試験結果	殻長0.3mm～4.4mmの種苗を187万個生産した。																																									
区分	回数	人数																																								
種苗放流指導等	39回	延べ135人																																								
調査時期	11～12月																																									
調査結果	標識率	1/3																																								
	標識放流魚の混入率	2.3%																																								
	放流魚の割合推定率	6.9%																																								

区分	事業内容等	決算額								
調査及び 試験研究	<p>水産資源に関する調査（指定管理業務） 資源量や漁獲魚種を把握し、漁業指導の基礎資料とするため、次の調査を行った。</p> <p>(ア) アサリの漁場別生息等調査 広島市海域のアサリの漁場別生息・成育状況等の調査を行った。</p> <table border="1" data-bbox="438 385 909 479"> <tr> <td>調査時期</td> <td>4月</td> </tr> <tr> <td>調査地点</td> <td>4地点</td> </tr> </table> <p>(イ) 魚介類の漁獲実態についての聴き取り調査 漁ろう漁業者から、漁獲状況などについて随時聴き取りを行った。</p> <table border="1" data-bbox="438 568 909 663"> <tr> <td>調査時期</td> <td>通年</td> </tr> <tr> <td>調査回数</td> <td>80回</td> </tr> </table>	調査時期	4月	調査地点	4地点	調査時期	通年	調査回数	80回	千円 7
調査時期	4月									
調査地点	4地点									
調査時期	通年									
調査回数	80回									
普及啓発	<p>水産業に対する理解の促進（指定管理業務） 水産業への理解の促進を図るため、関係団体の協力を得ながら、次の事業を行った。</p> <p>(ア) 海辺の教室 魚と漁業に関する学習会の開催 11回 参加者 150組 374人</p> <p>(イ) 水産関係イベント a わくわく！漁業体験 漁業団体などからの協賛を受け、小学3～6年生の児童とその保護者を対象にした漁業体験や、焼きガキなどの試食による魚食普及、消費拡大のためのイベントを11月に開催した。 来場者数 約500人</p> <p>b 広島市水産まつり 漁業団体が2月に開催した「広島市水産まつり」に協賛し、施設を公開するなど、「広島市の漁業」や「つくり育てる漁業」などに関する市民への理解を深めた。 来場者数 約11,000人</p> <p>(ウ) 広島かき子ども体験隊 漁業団体との共催により、参加者が一連のカキ養殖作業を実際に行う体験事業を行った。 3回 参加者 延べ84人</p> <p>(エ) 海と漁業の体験スクール 市内の小学校や子供会などに対し、カキ打ち体験、干潟の生物観察及び種苗の放流体験を行った。 12回 参加者 656人</p> <p>(オ) 施設の一般公開 資料展示室を公開するとともに、小中学校などの団体に対して、カキ養殖の学習会を行うとともに種苗生産施設の案内及び説明を行った。 来館者数 17,849人 団体数 192団体</p> <p>(カ) 水産知識の情報提供 インターネットなどにより、水産業及び水産生物に関する情報提供を行うとともに、依頼に応じて講師を派遣し、研修会を開催した。 a ホームページアクセス件数 14,681件 b 講師派遣 6回 受講者 304人</p>	千円 1,674								

(2) 収益事業等

19,362,192円

次のとおり収益事業等を実施した。

区分	事業内容等	決算額																																																																							
畜産振興及び家畜診療等事業 (その他の事業1)	<p>畜産振興及び家畜診療</p> <p>市民に安全・安心・新鮮な畜産物を供給するため、畜産農家に対して指導を行った。</p> <p>(ア) 畜産振興</p> <p>畜産農家への巡回指導を行い生産意欲の高揚と飼養技術の向上により、農家経営の安定を図った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>戸数</th> <th>件数</th> <th>指導内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>酪農振興</td> <td>12戸</td> <td>800件</td> <td>飼養管理技術指導、良質堆肥作製のための情報提供など</td> </tr> <tr> <td>肉用牛振興</td> <td>18戸</td> <td>941件</td> <td>改良増殖指導、耕作放棄地への和牛放牧普及啓発など</td> </tr> <tr> <td>中小家畜振興</td> <td>3戸</td> <td>38件</td> <td>衛生管理指導、感染症予防の情報提供など</td> </tr> </tbody> </table> <p>(イ) 家畜診療</p> <p>疾病の発生予防と早期発見に努め適切な診療により農家経営の安定を図った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>家畜診療</th> <th>無血去勢・除角</th> <th>人工授精</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件数</td> <td>1,320件</td> <td>44件</td> <td>254件</td> <td>1,618件</td> </tr> </tbody> </table> <p>家畜の改良、増殖(指定管理業務)</p> <p>乳用牛・和牛の生産振興、産地育成のため、受精卵移植技術により家畜改良・増殖を行い、農家経営の安定を図った。</p> <p>(ア) 採卵</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>採卵回数</th> <th>採卵個数</th> <th>正常卵数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>乳用牛</td> <td>3回</td> <td>0個</td> <td>0個</td> </tr> <tr> <td>和牛</td> <td>12回</td> <td>45個</td> <td>29個</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>15回</td> <td>45個</td> <td>29個</td> </tr> </tbody> </table> <p>(イ) 移植</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>供卵牛</th> <th>受卵牛</th> <th>移植件数(A)</th> <th>受胎未確認件数(B)</th> <th>受胎件数(C)</th> <th>受胎率 C/(A-B)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>乳牛</td> <td>乳牛</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">和牛</td> <td>乳牛</td> <td>56件</td> <td>※5件</td> <td>21件</td> <td>41.2%</td> </tr> <tr> <td>和牛</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合計</td> <td>56件</td> <td>※5件</td> <td>21件</td> <td>41.2%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※は平成29年3月末までに妊娠鑑定できなかった件数</p>	区分	戸数	件数	指導内容	酪農振興	12戸	800件	飼養管理技術指導、良質堆肥作製のための情報提供など	肉用牛振興	18戸	941件	改良増殖指導、耕作放棄地への和牛放牧普及啓発など	中小家畜振興	3戸	38件	衛生管理指導、感染症予防の情報提供など	区分	家畜診療	無血去勢・除角	人工授精	合計	件数	1,320件	44件	254件	1,618件	区分	採卵回数	採卵個数	正常卵数	乳用牛	3回	0個	0個	和牛	12回	45個	29個	計	15回	45個	29個	供卵牛	受卵牛	移植件数(A)	受胎未確認件数(B)	受胎件数(C)	受胎率 C/(A-B)	乳牛	乳牛	0件	0件	0件	0%	和牛	乳牛	56件	※5件	21件	41.2%	和牛	0件	0件	0件	0%	合計		56件	※5件	21件	41.2%	千円 6,769
区分	戸数	件数	指導内容																																																																						
酪農振興	12戸	800件	飼養管理技術指導、良質堆肥作製のための情報提供など																																																																						
肉用牛振興	18戸	941件	改良増殖指導、耕作放棄地への和牛放牧普及啓発など																																																																						
中小家畜振興	3戸	38件	衛生管理指導、感染症予防の情報提供など																																																																						
区分	家畜診療	無血去勢・除角	人工授精	合計																																																																					
件数	1,320件	44件	254件	1,618件																																																																					
区分	採卵回数	採卵個数	正常卵数																																																																						
乳用牛	3回	0個	0個																																																																						
和牛	12回	45個	29個																																																																						
計	15回	45個	29個																																																																						
供卵牛	受卵牛	移植件数(A)	受胎未確認件数(B)	受胎件数(C)	受胎率 C/(A-B)																																																																				
乳牛	乳牛	0件	0件	0件	0%																																																																				
和牛	乳牛	56件	※5件	21件	41.2%																																																																				
	和牛	0件	0件	0件	0%																																																																				
合計		56件	※5件	21件	41.2%																																																																				

区 分	事 業 内 容 等	決算額																
水産物の増養殖 推進事業 (その他の事業2)	<p>つくり育てる漁業の推進（指定管理業務） 内水面漁業及び海面養殖業の振興を図るため、種苗を生産し、広島市に引き渡した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 類</th> <th>生産計画</th> <th>生産結果</th> <th>大きさ等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アユ</td> <td>70万尾</td> <td>70万尾</td> <td>0.5g以上</td> </tr> <tr> <td>モクズガニ</td> <td>40万尾</td> <td>52万尾</td> <td>稚ガニ 1令以上</td> </tr> <tr> <td>ワカメ</td> <td>種糸 7,000m</td> <td>種糸 8,400m</td> <td>幼芽3mm以上</td> </tr> </tbody> </table>	種 類	生産計画	生産結果	大きさ等	アユ	70万尾	70万尾	0.5g以上	モクズガニ	40万尾	52万尾	稚ガニ 1令以上	ワカメ	種糸 7,000m	種糸 8,400m	幼芽3mm以上	千円 12,226
種 類	生産計画	生産結果	大きさ等															
アユ	70万尾	70万尾	0.5g以上															
モクズガニ	40万尾	52万尾	稚ガニ 1令以上															
ワカメ	種糸 7,000m	種糸 8,400m	幼芽3mm以上															
自動販売機設置 事業 (収益事業)	<p>自動販売機設置 管理施設に自動販売機を設置し、設置業者から販売手数料を受け取った。 設置場所 農業振興センター 1台 水産振興センター 1台 花みどり公園 2台（6月～10月は3台） 三田市民農園 1台 見張市民農園 1台</p>	千円 367																

7 無償使用貸借資産

事業を実施するにあたって、広島市から無償使用貸借している資産は次のとおりである。

(1) 建物及び土地（平成29年3月31日現在）

名 称	所 在 地	区分	現 在 高
広島市農業振興センター	広島市安佐北区深川八丁目30番12号	建物	事務室等 545.04㎡

(2) 物品（平成29年3月31日現在）

区 分	現 在 高	
車両	貨物車	4点
	農耕作業用自動車	1点
合 計	5点	

注：この表は、重要物品として取得価額又は評価価額が100万円以上の物品を記載した。

8 附属明細書

記載すべき事項はない。